



# 音声知覚、音声生成における基礎的研究

学術情報センター

講師 船津誠也（ふなつせいや）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1268号室  
Tel Fax  
E-mail

専門分野： 音声科学

キーワード： 音声知覚、音声生成、第二言語習得

## ● 現在の研究について

第二言語習得においては、母語にない音素、あるいは音素そのものは母語に存在するが音素配列が存在しない場合に習得が困難になることがあります。よく知られているのは、英語の/r/と/l/は日本語母語話者にとって聞き分けが困難であるということです。これは日本語には/r/、/l/という音素が存在せず、そのためどちらも日本語のラ行音として知覚されることによるものです。発音の面でも子音が連続するもの、たとえば英語の“dry”は/dorai/と/d/と/r/の間に/o/を挿入して発音されます。このような現象は、日本語母語話者に限ったことではありません。英語母語話者は日本語の「病院」と「美容院」の聞き分けが困難であるといわれています。さらに、英語母語話者は英語に存在しない子音連続、たとえばチェコ語の/zd/、/zb/を/zɛd/、/zɛb/と母音/ɛ/を挿入して発音するといわれています。

以上のような現象が生じるメカニズムについて研究を行なっています。知覚の面からの研究では、脳磁図、fMRI等の装置を用いて母語知覚と非母語知覚における脳反応の違いについて調べています。生成の面からの研究では、電磁式調音運動計測装置、電気式喉頭計、光電式喉頭計などを用い舌や唇の動きと声帯振動の関係について調べています。

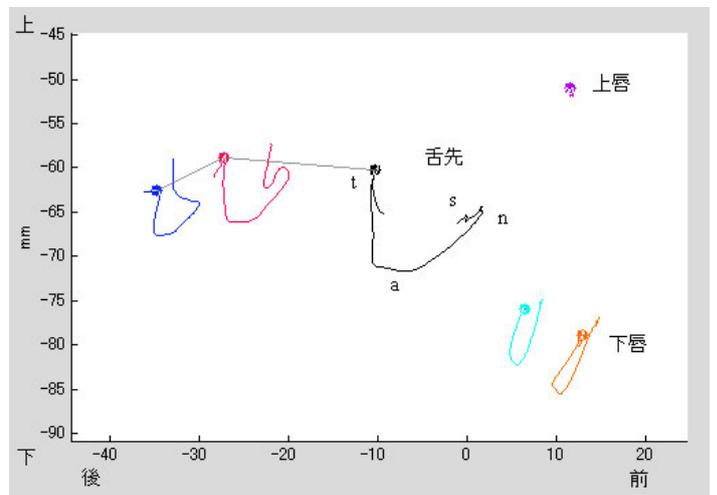


図 電磁式調音運動計測装置での計測例  
英語母語話者が“snat”と発音した場合の舌先の軌跡

## ● 今後進めていきたい研究について

これまでに行なってきた研究を発展させ第二言語音声の習得メカニズムについて研究を行なっていきたいと思えます。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

他の研究機関や大学、会社と連携して種々の被験者において発音動作の計測を行ないたいと思えます。

## ● これまでの連携実績

各学会と連携して講習会を実施しています。